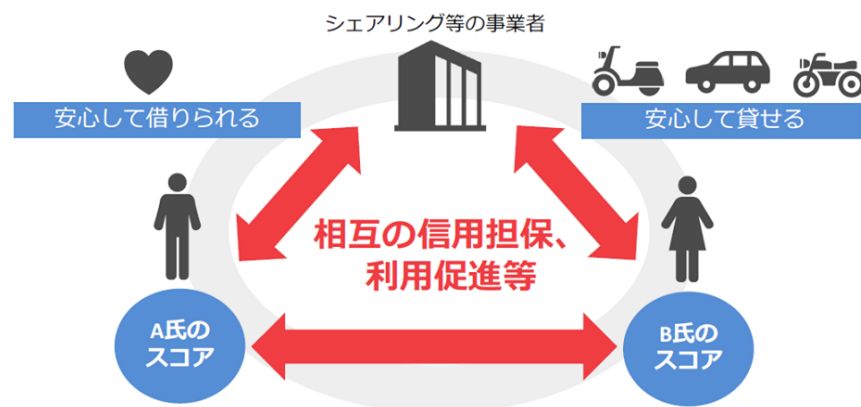


### 谷口博文の政策イノベーション



政府はシェアリングエコノミーを推進しようと検討会議で審議を重ね、最近報告書を発表しました。

要はシェアリングエコノミーのサービスというのは従来のビジネスとは違って個人によって提供されるから、利用者の不安がなかなか払拭できない。だから官民挙げて信頼性をあげ普及啓発に取り組もうというものです。

これが将来発展するかどうかは、日本人の行動や意識に大きく左右されそうです。

なぜか。従来事業者はお上のお墨付きをもらって事業を始め、安全安心に対する信頼を得ていました。行政はその責任を果たすため、業者を事細かに監督したわけです。

ところがシェアリングエコノミーでは個人による個人向けのビジネスという、これまでにない世界が始まってしまいました。新しい価値を生み出すビジネスではあるが、サービス提供者はお上に頼らず自分で顧客の信頼を勝ち取れ、利用者も自分で責任を持ってサービスの質をチェックしろ、というのが基本です。つまりサービスの提供者も利用者も自立的な個人が前提となっているのです。

もちろん最低限の規制は必要です。しかしもしサービス提供者も利用者も行政を頼りにして、お上なしではビジネスできないと考えたならば、シェアリングエコノミーは花開かないでしょう。その点報告書で自主的なルールづくりの方策が示されているのは良い方向だと思います。

シェアリングエコノミー検討会議第2次報告書から引用

第12回シェアリングエコノミー検討会議 ヤフー株式会社提出資料より